

長万部の

教育

コーナー



『四季島』に憧れて

いずみ保育園



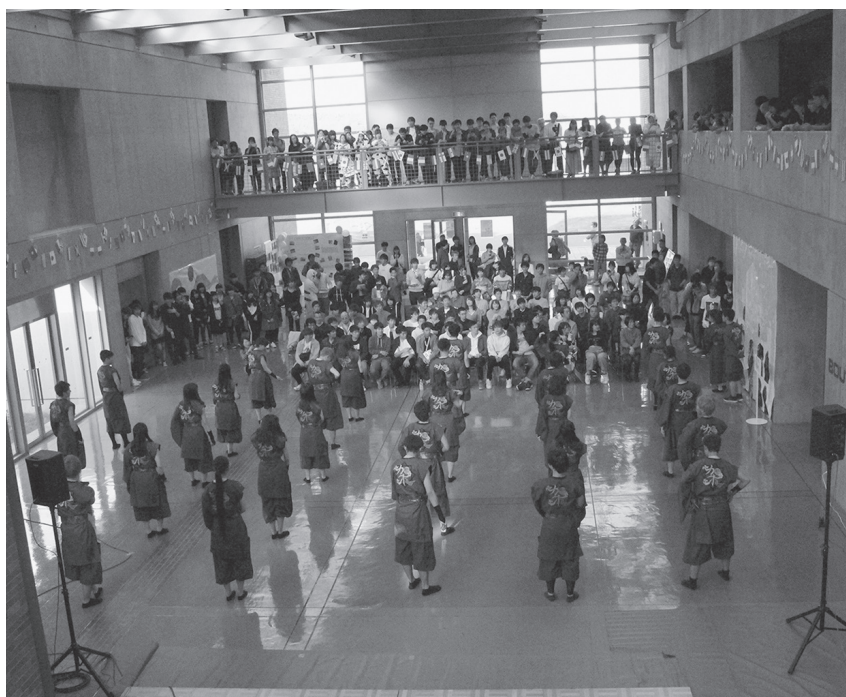
「四季島」出発！

年長さんと年中さんが、小学校の『あやめ発表会』を楽しんだ帰り道、駅のホームに見たことのない列車を発見。「すごい！」と立ち止まって皆で見入っていました。早速、園に戻って調べると『四季島』という列車だとわかり

う！』と子供たちからのリクエスト。それから三週連続の駅への散歩となりました。JRの駅に近い園だからこそ実現した楽しい時間。列車が来ると手を振る子ども達に運転士さんや車掌さんも笑顔で応えて下さいました。小さな偶然から興味が生まれ、それが夢や憧れに繋がっていくのだと子ども達の瞳から感じられた時間でした。

今、キャンパスでは

東京理科大学



よさこいDANCE部

10月20日(土)、東京理科大学長万部キャンパスにて学寮祭が行われました。今年もたくさんの町民の方にお越しいただき、当日はキャンパス内が沢山の人の笑顔があふれる素敵な空間となりました。ステージ企画では長万部高校の軽音部、長万部吹奏楽団の方々にも演奏で会場を盛り上げて頂きました。学寮祭実行委員は学寮祭のために

4月から準備をしました。企画から運営までを先輩のいない環境で作り上げていくことは、大変なこともたくさんありましたがとても良い経験となりました。

学寮祭の企画に協力して頂いた皆様、当日会場にお越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。

学寮祭実行委員一同

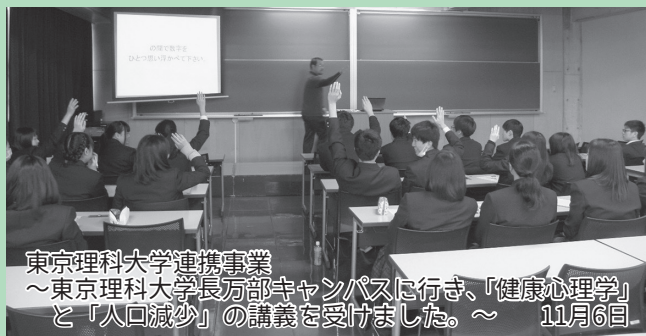
写真で見る 学校の様子

長万部高等学校

長万部中学校



まちづくりプロジェクト
～「まちづくり」について興味のあることを調べ、
考え、その内容を発表しました。～ 10月31日



東京理科大学連携事業
～東京理科大学長万部キャンパスに行き、「健康心理学」
と「人口減少」の講義を受けました。～ 11月6日



2年生見学旅行
～奈良、京都、大阪を訪れました。天候に恵まれた
3泊4日でした。～ 11月8日



性に関する講演会 11月19日



租税教室（3年生）12月7日



ハートフルコンサート 12月11日



楽観主義で時代を生きる

静狩小学校校長

三宅 貴裕

笑いの研究で知られるイギリスのホールデンは、日々の生活を潤いのあるものにしていく上で、ユニークな考え方を私たちに提供しています。たとえば、彼は、仕事の能率をあげ、職場での雰囲気や和らいだものにしていくために「職場のスマイル経営」を提唱しています。

微笑みは、人間関係を潤いのあるものにしていく上で、なくてはならない潤滑油であるといっても過言ではありません。微笑みは、与えられた人だけでなく、微笑みを発する人々の心をも豊かにしてくれるとホールデンは言います。アメリカのクラインは、「微笑み」は、世界で最も長い言葉であるとともに、世界で最も短い表現であることに言及しています。

「微笑み」という言葉は、英語で書き表すと smiles になります。しかし、この smiles の綴りは、SとSの間に距離をあらわす mile という綴りが含まれていることがわかります。つまり、世界で一番長い言葉であるというわけです。また、「微笑み」ほど、自分の気持ちが一瞬にして相手に

伝わるものはありません。その意味で、「微笑み」は、世界で最も短い言葉なのです。フランスの哲学者アランは、「悲観主義は気分によるものであり、楽観主義は意志によるもの」と述べています。楽観主義は、その人の人間的な強さ、心の強靱さ、意志と強く関連しています。

また、アランは『幸福論』の中で、「遠くをこらんなさい。人間の眼は、こんな近距離を長く見られるようには出来ていないのだ。広々とした空間に眼を向けてこそ、人間の眼はやすらぐのである。」とも述べています。この「遠くを見つめる」という振る舞い、強靱な意志力こそが、アランのいう楽観主義の神髄なのです。

二〇四〇年には一八歳人口は現在の七割程度の規模となる推計が出される一方、本格的に人生百年時代を迎えるこれからの社会では、より主体的で自己実現的な生き方を支える仕組みの構築が求められています。

その意味では、強靱な意志に裏打ちされた「楽観主義」が新しい時代のキーワードになるといえるでしょう。